

女子ホッケーU18日本代表チーム 2026オランダ遠征													
日 付		2026/08/19				天 候		曇り					
場 所		Amsterdam				通算結果		2勝1敗					
試 合		第3試合											
Country				RESULT				Country					
日本 JAPAN U18				4				Pinoke NED U18					
				1Q 1 - 0									
				2Q 2 - 0									
				3Q 0 - 0									
				4Q 1 - 1									
				1									
Start	No.	Name		GREEN	YELLOW	RED	Start	No.	Name		GREEN	YELLOW	RED
✓	41	野田 美緒(GK)					✓	1	Eva Boevink (K)				
16	2	森 望偉(GK)					✓	2	Amber Ezechiels				
✓	5	吉田 来夢					✓	3	Lonne Balk				
5	7	秋場 優南					✓	4	Floor Kalpoe				
✓	18	山本 鈴菜(C)					✓	5	Elin van Erk				
✓	44	野田 莉緒					✓	6	Isa Kaars Sijpesteijn				
✓	21	渡邊 桜空					✓	7	Roos Weers				
5	8	ボクホベン 莉咲ジェーン					✓	8	Klaartje de Bruijn				
✓	10	橋本 奈々					✓	9	Sarah Kalpoe				
✓	12	西田 葉名					✓	10	Joosje Rijpstra				
5	42	森川 花					✓	11	Frederique Grimbergen				
✓	9	吉原 仁菜					4	12	Roos Vrolijk				
5	11	外川 柚季					4	13	Leiah Brigitha				
✓	14	桑本 真衣					4	14	Juna Galama				
5	16	藤井 音々											
DNP	17	小池 咲代											
5	19	伊藤 詩											
✓	15	青木 千夏											
✓	26	関口 結希											
5	43	八十島 栄奈											
HeadCoach		岩館 直也				HeadCoach							
Manager		高橋 様子				Manager							
Umpire						Umpire							
Country	Min	Name		Action	Score		Country	Min	Name		Action	Score	
JNP	10	八十島 栄奈		PC	1-0								
JNP	16	桑本 真衣		FG	2-0								
JNP	30	八十島 栄奈		FG	3-0								
JNP	51	伊藤 詩		FG	4-0								
NED	55			PC	4-1								
第1Q 日本のセンターパスにより第1Qが開始される。日本はスクープパスを活用し、前線の高い位置からプレッシャーをかけチャンスを作り、6分にPCを取得。そのPCを#18山本がドラッグシュートを放つも惜しくもゴールの枠を捉えられない。さらに攻撃の手を緩めない日本は8分にPCを取得。#5吉田がドラッグシュートを放つも惜しくも右ポストに当たる。そのこぼれ玉を#43八十島が押し込み1-0と先制する。その後も日本が優勢にボールを運び、第1Qを終える。													
第2Q 16分、左サイドより#15青木がドリブルで持ち込んだボールをゴール前にいた#14桑本に流し、ダイレクトシュートを決め2-0と追加点を挙げる。その後もフルプレスを掛け続けた日本は、18分にPCを取得。#5吉田のドラッグシュートは1番騎に当たりその後3度のPCのチャンスもPinokeの粘りある守りで追加点することができない。終了間際、左サイドからのセンタリングを#43八十島がリバースで押し込み3-0とリードをして終える。													
第3Q 両チームのパステンポが上がり、さらにスピードが増す、日本は高い位置からプレスをかけインターセプトを狙う。Pinokeも細かいパスを繋ぎビルドアップから攻撃を仕掛け36分にPCを取得するが日本の堅い守りで得点できない。日本もPCのチャンスを得るもチャンスをもにすることができない。41分、Pinokeの早いパス展開から#14、#11に連続してヒットシュートを打たれるもGK#41野田が落ち着いてクリアし、得点を与えない。3-0で終える。													
第4Q さらに一進一退の激しい攻防が続く。51分、右サイドから#43八十島からのボールを受けた#16藤井がゴール前にセンタリングを入れ、タイミングよく走り込んだ#19伊藤がタッチシュートを決め、4-0とする。何とか得点をしたPinokeは55分、PCから細かいパスを繋かれシュートを打たれ、4-1となる。													
Pinokeの早いビルドアップの攻撃に対し、日本チームはコート内でコミュニケーションを高め、連動して守り続ける。終了間際の59分、相手のビルドアップのパスをカットした#16藤井は、#43八十島とパスを繋ぎ合い、PCを取得。その後も両チームとも激しい攻防を続ける試合終了とる。4-1で日本が勝利し、通算2勝1敗となる。													
						日本		25		シュート数		8	
								8		PC数		2	
												オランダ	